

子宮頸がんワクチン（ガーダシル、サーバリックス）

子宮頸がんの多くはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因です。
その感染経路は性的接触です。

年間約 10000 人が発症し約 3000 人が子宮頸がんによって亡くなっています。
子宮頸がんワクチンは頸がんの 6～7割を予防できると考えられます。

定期接種に入っていますが、過去にけいれんや痛みの副作用が報道されました。
しかし、この副作用とワクチンの因果関係はないと考えられており、世界的にも安全性は確認されています。

当院では安全で効果的なワクチンとして、接種をお勧めします。（ガーダシルを準備していますがご希望に応じてサーバリックスも接種可能です。）

接種料金：住民票が山口県内の小学校 6 年生～高校 1 年生の女兒は無料

その他の方は 1 回 16,000 円

接種回数：3 回

接種部位：肩への筋肉注射

副反応：接種部位の腫れ、痛み、赤み、かゆみなど

予約制です。ご希望の方は受付にご相談ください。

かねはら小児科

ガーダシルとサーバリックスの違い

	ガーダシル	サーバリックス
予防できるウイルスの型	6型、11型 16型、18型	16型、18型
接種回数	3回	3回
特徴	尖圭コンジローマや外陰ガンにも効果がある	接種後の抗体価がガーダシルより若干高い
副作用	疼痛、腫れなど	疼痛、腫れなど（頻度が若干ガーダシルより高め）

・8月～院内掲示、予約開始。9月～接種開始。

- ・小学6年～高校1年の女兒にはパンフレットを渡しておすすめる。
- ・ワクチンは予約制。1週間ほどで入荷するので入荷したら連絡して来院していただく
- ・ワクチンは高価なので接種直前に針を付けて準備する。
- ・ワクチン後は次回接種をおすすめる。
- ・ワクチン後30分院内又は車内で様子観察。何もなければ帰っていただく。
- ・24時間は激しい運動をさける
- ・3回とも同じワクチンで接種をすすめる

接種方法

- ・接種間隔を確認する（プリント①参照）
- ・25ゲージの針をつける
- ・プランジャーの緩みがないか確認する。（プリント②参照）
- ・振り交ぜて均一にする。
- ・筋注（しびれ感、激しい痛み、血液の逆流がないか確認し接種する）